

グリーンマネジメント～道路管理の計画から管理まで～

国土交通省中国地方整備局 法人会員 1 級 D 飛田 敏行
国土交通省中国地方整備局 法人会員 1 級 D ○草田 善治

はじめに

街路樹や、中央分離帯の植樹、のり面緑化などに代表される道路植栽は、交通環境とともに、沿道生活環境の上でも重要なものです。

中国地方整備局においても道路緑化は、道路景観の向上、沿道の生活環境の保全、道路交通の安全・快適性の確保などの目的で、整備を推進してきました。しかしながら、社会の変遷に伴い沿道環境のさらなる改善、地球温暖化対策、建設・管理コストの縮減など、多様化・高度化した新たな社会ニーズに対応した道路緑化が求められています。

そこで、中国地方整備局道路部では、平成12・13年度の2ヶ年にわたり、道路緑化に関し計画から管理までのマネジメントについて検討を実施してきました。

1. グリーンマネジメントとは

グリーンマネジメントとは、「道路緑地は成長する貴重な社会資本として考え、緑地の調査・設計から管理に至るまでの総合的な分野において、緑の機能を効果的に創造する」ことです。

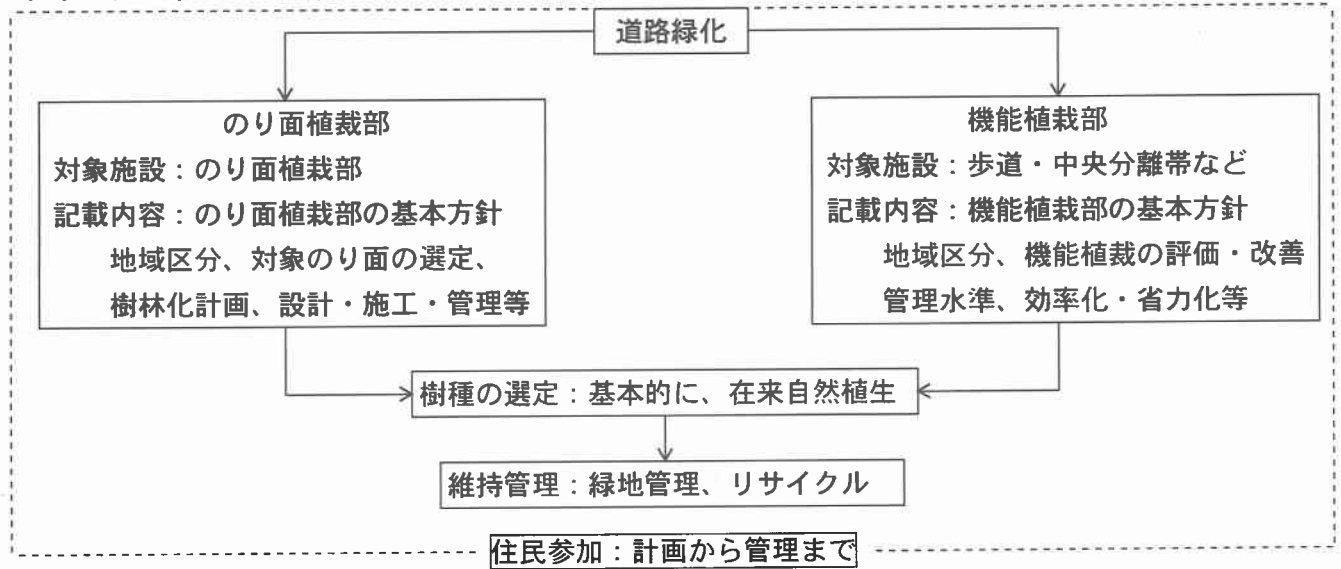
この際の基本的な考え方は、次のとおり整理しました。

- ①大気浄化、騒音緩和、生態系の保全、自然環境の創出、温暖化防止、緑のリサイクルなどの環境の保全と改善。
- ②住民にやすらぎと潤いを与える良好な道路環境の形成。
- ③緑陰形成、交通分離、衝撃緩和、視線誘導等の道路交通の快適性・安全性の向上。
- ④防災機能の確保。
- ⑤住民参加によるコミュニティの形成と個性豊かな道路環境の創出。
- ⑥樹林化、メンテナンスフリー技術等によるトータルコストの縮減。

これをベースに、「グリーンマネジメント推進の手引き（案）」を作成し、今後の事業執行を担う各担当分野で幅広く活用することとしています。

2. 手引き（案）の構成

グリーンマネジメント推進の手引き（案）の構成は、次のとおりです。



3. グリーンマネジメントの新たな提案

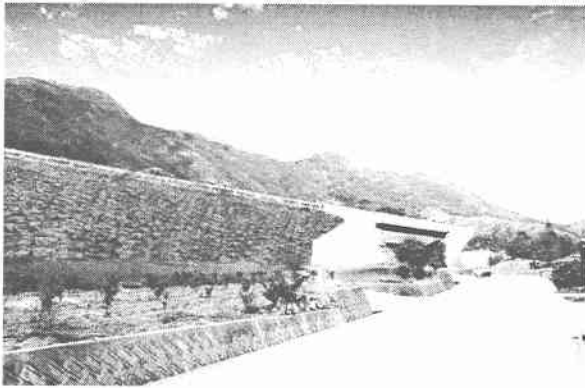
1) のり面植栽部の樹林化

道路のり面を有効に活用した緑化を推進することは、グリーンマネジメントの基本理念である環境の保全、生態系の復元、地球温暖化への対応について大きな効果が期待できます。

また、樹林化はメンテナンスフリーの効果も期待できるため、除草・草刈りなどの管理に手間のかかるのり面へ積極的に導入することとしました。

のり面の緑化にあたっては、地域の周辺植生・潜在自然植生に配慮した導入樹種を選定し、樹林化を行うことを基本方針とします。

この際、地域を都市部・農村部・自然地域に区分し、各々緑化目標を設定し適切な樹林化を推進することとします。



施工直後



施工後10年経過予想

2) 住民参加（計画から管理まで）

グリーンマネジメントへの住民参加は、「計画段階における参加」、「施工時の参加」、「管理への参加」の各段階において、積極的に推進することとします。

○計画段階における参加

樹林化目標の設定段階から参画できることが重要で、樹種の選定、植栽配置計画などを道路管理者と一緒に検討する場を設定します。

○施工時の参加

ポット苗の育成、ポット苗植栽、ドングリの実植え、植樹祭など多様な参加形態を計画・実施し、道路植栽への親しみを生み出します。

○管理への参加

現在、実施している「ボランティア・ロード・プログラム」の充実・拡大を図ります。

3) 管理コスト縮減・リサイクル

グリーンマネジメントでは、今後次の取り組みを行う予定です。

○管理コスト縮減

管理上問題のある植樹の撤去、植え替えを実施します。

- ・管理コストが高く、管理作業が交通流に悪影響を及ぼす「中央分離帯の植樹」を撤去する。
- ・倒木の危険性、樹種選定が不適切な街路樹を適正な樹種に植え替える。

○リサイクル

これまでの「チップ化」に加え、「刈草の炭化」を推進する。

おわりに

現在、中国地方整備局では管内各事務所レベルで、グリーンマネジメントに取り組んでいます。特に樹林化については追跡調査も含めさらに検討していくこととしています。